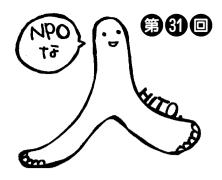
ボランティアをしたい人と 募集している人をつなぐ

みんなのボランティア情報誌





(2009年7月末現在)



NPO活動をしている人をどのくらいご存じですか? どんな人が、どのような経緯で始めたり、関わるように なったのでしょうか。

北海道の多くの市民活動家の中から、まさに「NPO な人」 として紹介したい方に、これまでのエピソードを教えていた だきました。

北海道新聞社会福祉振興基金助成



著 者 NPO 法人 北海道食の自給ネットワーク事務局長 大熊 久美子(おおくま くみこ)

1999 年に北海道食の自給ネットワーク (2005 年 NPO 法人化) を設立し、事務局 長として活動。北海道有機農業協同組合理事、北海道食育コーディネーターなど も務める。札幌市在住。

始まりはママたちのサークル作りから

食や農の活動に携わって、早いものでもうすぐ20年になります。今では仲間たちと当たり前の様にしている活動ですが、最初の一歩を踏み出したのは、現在は社会人となった娘が2歳の頃のことでした。当時女性は結婚すると専業主婦になることが一般的で、呼び名も「○○さんの奥さん」か「△△ちゃんのお母さん」が普通という時代。日々の子育てに追われ、社会から隔絶され、ご近所という狭い地域で生きている閉塞感を何となく感じていた時でした。同じ思いを持つ近所のママ友達と出会い、二人で小さなサークルを立ち上げたのが始まりです。

それはママたちの学習サークルでした。子育て中の田親も社会問題を勉強しよう、ひとりで子育てをしないで仲間を作ろうと新聞で参加者を募集したところ、驚いたことに札幌市内全域からたくさんの申し込みがあったのです。そこには子連れでも学びたい、親子で友達作りをしたいというママたちの切実な思いがありました。私と友人は町内会館を会場に借り、集まったメンバー全員で会の運営方法を検討し、保育士さんを募集しました。自分たちで集めた会費から謝礼を用意し、会の趣旨を理解し協力してくれるプロに子どもたちの託児をお願いしたいと思ったからです。こうして毎週木曜日、子どもたちは楽しく遊

び、田親たちは別室で学習するという、親子ともに通うことを心待ちにするサークルができました。当時私たちが学習したテーマは「食品添加物」から「日米地位協定」まで実にいろいろ。学習方法も自分たちで調べて発表したり、新聞に載った人にアタックして講師をお願いしたりとさまざまでした。僅かな交通費だけで快く来て下さった講師の方々に、私は今も尊敬と感謝の思いをいだいています。

私たちは乾いたスポンジが水を吸うようにたくさんの ことを学びました。そして仲間と活動する楽しさや自ら 行動することで道は開けることなど、現在に繋がる活動 の基本もこの時期に学んだように思います。



日高門別の漁師さんから、ホッケのさばき方を習う子 どもたち(2008 年 10 月、「まるごと学ぼう!! 食育講座 2008」)

NPO の活動へ

サークルはその後も元気に活動を続けましたが、子どもたちの成長やそれぞれの家庭の事情などから やがて解散となりました。その頃から私は生活クラブ生協で活動を始めるようになりました。添加物が 入っていない食品や石けんが欲しくて加入した生協ですが、そこで行なわれている組合員活動に興味を ひかれたからです。そのひとつに食料自給率と農業の問題がありました。

1996 年アクセスサッポロを会場に「食料自給率の向上」と「第一次産業の復権」をテーマにしたイベン ト『生命(いのち)のまつり』が開催されました。実行委員は有機農業や無添加食品の流通をしているポ ラン広場、らでいしゅぼ〜や、生活クラブ生協など。当時生活クラブ生協で理事をしていた私はまつりの 実行委員長を務めることになりました。まつりは3年間行なわれ、この時の実行委員会メンバーが中心に なって 1999 年、「北海道農業の活性化」と「食料自給力の向上」を目指す非営利の市民団体『北海道食の 自給ネットワーク』(以下「自給ネット」)が誕生したのです。

最初の活動は生産地体験交流ツアーでした。厚田村(現・石狩市)で有機農業を営む長良幸(ちょうよ しゆき)さんの畑へ貸し切りバスで行き、農業体験と交流をするという企画でした。会員だけではなく一 般からも参加者を募集したところ、当時はまだ農業ツアーが珍しかつたこともあり、たくさんの申し込み がありました。畑で作業しながら生産者と消費者が直接話し合うことで、お互いの距離が一気に縮まるの を感じました。こういった生産地での交流ツアーは現在も、自給ネットにとって欠かせない活動になって います。

その後も 2000 年に大豆トラスト、2002 年に小麦トラスト、2004 年に食育講座と活動は広がっていきま した。大豆トラストおよび小麦トラストは、毎日食べるにも関わらず自給率の低い大豆と小麦を取りあげ ることで、参加者に食料自給率向上の大切さや地産地消の意識を持ってもらうために。食育講座は、子ど もたちに食の大切さや北海道農業の価値を伝えるために。そしてこれらの活動はすべて会員さんの力に よって支えられてきました。大豆や小麦の生産者、パンや麺の加工メーカー、食育の講師、それぞれのプ ロジェクトスタッフや運営をする理事など、生産者、消費者、流涌・加工業者の会員で構成される自給ネッ トだからできる活動だったかもしれません。30人からスタートした会員さんも現在 220人。年齢、性別、 職業、住む地域も実にさまざまです。

自給ネットを設立して 10 年が経ち、会員数も活動 も広がりました。でも私たちの基本にあるのは北海 道の農業を支え、食を守りたいという、10年前と変 わらない切実な思いです。そして誰かがやってくれ るのを待つのではなく、自分から動こうという意志 の力です。それは二十数年前、幼い子どもの手を引 いて「学びたい、世界を広げたい」と集まってきた ママたちの切実な思いと重なるものがあります。活 動の原点とはそういうものかもしれません。



岩見沢市のトラスト生産者の小麦畑にて (2008年7月、「小麦トラスト」)

札幌市東区北 15 条東 18 丁目 2-17 (有)ワードエム内

携帯:090-2818-5502 FAX:011-789-8890

Eメール info@jikyuu.net ホームページ http://jikyuu.net



さまざまな悩みを抱えた人たちが自発的に立ち上げた「自助グループ」が各地に広がりつつある。立ち上げた経緯や活動はさまざま。体験を共有し、自らを見つめる。心に寄り添う活動を紹介する。

札幌市さぽーとほっと基金助成

NPO 法人 北海道ダルク

代表森

亨^(もり とおる) **亨**さん



第 1 回

仲間が仲間の手助けをする、 これが当初から変わらぬダルクのスタイル

芸能人の使用などで注目を集めている薬物依存。道内で唯一、薬物依存から社会復帰を目指す民間施設「北海道ダルク」が開設されたのは 2004 年。何でも話し合える「居場所」を提供し、仲間が仲間を手助けするダルクのスタイルが、全国・全道に広がっている。

代表の森亨さん(49) は札幌出身。森さんは高校生のとき、憧れの思いでシンナーや大麻などに手を出した。当時は常用には至らなかったものの、就職後、重なるストレスから覚せい剤を使用し、28歳には依存に陥った。かさむ薬物購入資金や仲間を失った孤独な社会生活、逮捕、実刑。出所後、家族への後ろめたさや今後の人生への不安を抱える中、医師の勧めで日本ダルク(東京)の門をたたいた。森さんは当時、「自分はダルクに行くほどではない」といったネガティブな自己評価の一方、高いプライドを持っていた。日本ダルクは1日3回のミーティングを義務付けており、うそは禁物。正直に自身を語る仲間に森さんは「正当化する自分」や「薬さえやめ、仕事さえやれば、なんとかなると思う自分」「人の目を気にし、行動する自分」に気がついたという。森さんが「依存症という病気である自分」を認め、帰郷したのは日本ダルクを訪ねて約3年後、43歳になっていた。

帰郷後はダルク立ち上げに向け、資金と場所の調達に奔走する一方、チラシの配布や講演で地道に活動を PR。 当時、薬物依存に対する社会の理解は低かったが、支援の輪は徐々に広がった。ダルクを必要とする社会が森さんの活動を支えた。現在、森さんはダルクを運営する一方、使用経験者としてナルコティクス・アノニマス(NA=

NPO 法人 北海道ダルク

薬物やアルコールの依存に苦しむ人が集団生活や回復プログラムを通じ、社会復帰を目指す民間施設。全国に54ヶ所あり、北海道ダルクは2004年開設。2006年に法人化し、現在スタッフ5人で運営。現在、新施設購入のため、広く寄付を受付中。

Eメール darc@taupe.plala.or.jp ホームページ http://h-darc.com 〒060-0031 札幌市中央区北 1 条東 6 丁目 10 番地 TEL:011-221-0919 FAX:011-221-0920 郵便振替 口座番号 02780-5-95744 特定非営利活動法人 北海道ダルク 薬物問題を抱える仲間同士の集まり)のミーティングに参加し、仲間とともにクリーン(薬物を使わずに生きる生活)を継続している。

薬物依存が直接の死因にはつながらないものの、事故や自殺に至るケースも少なくない。「依存症は唯一、本人が責められる病気。彼らをどう守るか」と森さん。現在、施設運営の一方、学校をはじめとする講演に積極的に出向き、脱薬物の啓発を続ける。「知識を広めていくことが大切。社会の理解を深める一助になれば」。森さんの活動は続く。

公的機関の相談窓口は、札幌市民では札幌心のセンターや各区役所保健福祉課、その他の市町村にお住まいの方は、最寄の保健所または北海道立精神保健福祉センター(札幌市内)で相談できます。

ホームページでも様々な 自助グループを紹介中

http://www.npohokkaido.jp/volunavi/「こんな自助グループがあれば参加したい」といった意見や情報をお待ちしております。



情報をお待ちしています

ホームページの入稿フォームをご利用ください。

■ ボラナビ http://www.npohokkaido.jp/volunavi/ *インターネット環境が無い方は、FAX や郵便でお送りください。

締切は毎月25日。次回は10月25日締切→12月号掲載です。

掲載情報のご利用にあたり

- ■情報の詳細は各団体にお問い合わせください。
- ●活動で生じた問題につきましては、当事者間で解決を図られるようお願いいたします。また、万が一の事故やケガにそなえてボランティア保険への加入を推奨します。
- 思いやりをもって活動しましょう。



聞き合う講座のボランティアスタッフ募集

聞き合いサポートネットでは、聞き合うことでつながり、助け合うことを目的として活動しています。この度、「人とつながるために」〜聞き合う方法を学ぶ〜というテーマで市民講座を開きます。その簡単な準備や当日の受付などをお手伝いしてくださるボランティアスタッフを募集しています。もちろん講座にも参加 OK です!

- ●日時/10月25日、11月8、22日いずれも日曜日 13:00~16:00
- ●場所/エルプラザ(札幌市北区北8条西3丁目) ●交通機関/JR「さっぽろ駅」〈北口〉徒歩5分
- ●参加費/ボランティアスタッフは無料です ●交通費/支給(上限 600 円) ●締切/10 月 17 日(土)
- ●お問合せ/聞き合いサポートネットワーク〈担当:松橋〉 E メール kikiai-support@mail.goo.ne.jp TEL・FAX:011-695-2477 ホームページ http://blog.goo.ne.jp/kikiai-support



展示即売会の販売ボランティアさん募集

在宅の障がい者が通う小規模作業所など福祉施設で制作した産品(製品)の展示即売会を開催します。今回で 8年目をむかえ、16の施設が参加を予定しています。夜 9時までと長いので、夕方からの販売をお手伝いしてくださるボランティアさんを募集しています。お近くにお住まいの主婦、仕事帰りのサラリーマン、学生さんなどの応募をお待ちしています。

- ●日時/11月13日(金)~15日(日) 17:00~21:00 1日だけの参加もOK
- ●場所/サンピアザ光の広場(札幌市厚別区厚別中央2条5丁目)
- ●交通機関:地下鉄東西線「新さっぽろ駅 |、JR「新さっぽろ駅 | 直結 ●申込締切/11月12日(木)
- ●お問合せ/小規模作業所産品合同展示即売会実施委員会〈担当:NPO 法人作業所「創」 小川〉 Eメール sou_ogawa@hotmail.com TEL・FAX: 011-891-3039 ホームページ http://www.k3.dion.ne.jp/~sagyosou/

随時

ふまねつと運動をもつと楽しく、もつと身近にするお手伝いをしませんか

NPO 法人地域健康づくり支援会ワンツースリーは、高齢者や障がい者の社会参加と地域福祉人材養成を目的に、網を使って体のバランス機能を高めるふまねっと運動の研究、開発と指導者養成を行っています。北区にある事務所では、新しいステップを考えるなどのふまねっと運動プログラムの作成、アンケート処理、講習補助、機関誌やチラシ、テキストの作成などの業務に参加し、一緒に活動できるボランティアさんを募集しています。年齢不問。学生の皆さんの卒業研究としての取り組みも大歓迎です。将来当 NPO 法人の職員として働いてみたいという方も、仕事を体験す



る機会としてご利用ください。謝礼や賃金、交通費は支給することができず完全なボランティアですが、社会経験、コミュニケーションスキルの向上、パソコンスキルの習得など、勉強になることが多いことをお約束します。

- ●日時/月~日曜日 9:00~18:00 ●場所/ふまねっと研修センター(札幌市北区北23条西6丁目1-45)
- ●交通機関/地下鉄南北線「北24条駅|より徒歩5分
- ●お問合せ/NPO 法人地域健康づくり支援会ワンツースリー 担当:尚和(しょうわ) E メール info@1to3.jp TEL: 011-747-5007 FAX: 011-747-5008 ホームページ http://www.1to3.jp/



筋ジストロフィーの方の介助ボランティア募集

現在、25歳男性で筋ジストロフィーの施設利用者さんが札幌市豊平区で一人暮らしをしています。居宅介護サービスを利用していますが、札幌市が支給するサービス時間数では足りないため、充分な介護が受けられない状況です。そこで、介助ボランティアを募集しています。主に身体的な介助で、食事、着替え、車いすへの移乗、排泄等です。時間は短くてもかまいませんので、ぜひお願いします。

- ●日時/月~金曜日 10:00~16:00
- ●場所/この男性の自宅または外出先の詳細については、お問い合わせをいただいた後、ご説明します
- ●お問合せ/NPO 法人イコール〈担当:間地(あいち)〉 E メール pegasusequal 1506@ybb.ne.jp TEL・FAX: 011-857-0262 札幌市豊平区月実西 1 条 9 丁目 8-1 パサージュ月実 207 号



乳幼児と一緒に遊ぶボランティア

毎週水曜日に真駒内公園内で、素朴なおやつを作ったり、自然との触れ合いを大切にしているユニークな子育てサロン「ひろっぱ」を開いています。一緒に子どもたちと遊んだり赤ちゃんの世話をすることが大好きな方を募集しています。来られる時間帯に来てください。活動の様子をブログ「ひろっぱ日記」や「ひろっぱ」のサイトで紹介しています。そのサイトから間い合わせも受け付けています。



- ●日時/水曜日 10:00~14:00 (活動は9:30~15:00)
- ●場所/道立真駒内公園旧公園事務所2階和室(札幌市南区真駒内公園3-1アイスアリーナ前)
- ●交通機関/じょうてつバス「上町1丁目」より徒歩5分。無料駐車場有
- ●お問合せ/ひろっぱ〈担当:古市〉 Eメール furuichi@cvm.or.jp 携帯:090-3772-0668 ホームページ http://www.cvm.or.jp/hiroppa/

随時

女性と子どもの「元気」の輪を広げませんか

私たちは、女性と子どもが大切にされると同時に、自らを大切にする環境づくりが不可欠だと考え、人権啓発活動や性の健康教育、暴力未然防止活動などを行っています。現在の主な活動内容は、「からだの科学」「デート DV 防止プログラム」のワークショップです。

(1)メグさんの性の健康教育「からだの科学 |

子どもたちが性の被害者にも加害者にならないためのプログラムです。子どもたちの健康と安全に必要な科学的知識と情報を盛り込んだ、メグ・ヒックリングさん(カナダ)の性の健康教育。メグさんに代わって、私たちがワークショップ形式でお伝えしています。大人のためのワークショップは 2 時間程度、子どものためのワークショップは就学前児童、小学校低学年、高学年に分け、それぞれ数十分ずつです。

(2)アウェア(DV のない社会を目指して活動する民間機関)の「デート DV 防止プログラム |

デート相手に対する暴力を「デート DV」といいます。私たちは、中学・高校・大学生を対象に、暴力をふるったりふるわれたりせずに相手を尊重する関係を学ぶ 90~120 分程度のプログラムや、大人向けに、このプログラムのワークショップを行っています。

いずれの活動にもファシリテーター派遣費用がかかります。ワークショップ実施に向けてのご相談など、お気軽 にお問い合わせください。

●お問合せ/NPO ピーチハウス〈担当:吉(よし)〉 E メール npo_peachhouse@yahoo.co.jp ホームページ http://npo.peachhouse.googlepages.com/

厚生労働省事業 平成21年度コミュニティ・ジョブ支援事業(モデル事業)

コミュニティ・ジョブ人材育成講座のご案内

11月9日(月)~13日(金)共に10時~17時 連続5日間講座 定員は10名です NPO職場体験は11月12日(木)に実施 講座内容はNPOマネジメント講座、NPO会計講座 労務管理講座、組織運営講座を実施予定 NPO職場体験付きで盛りだくさんの内容です。

NPOでの就業・起業をお考えの方に最適です!

※主な対象 NPO法人やコミュニティ・ビジネスでの起業や就業を希望する現在休職中の若者や団塊世代の方 NPOに興味のある方 全般が対象です。応募者多数の場合は抽選になりますのでご了承下さい。会場は当センター会議室を予定しております。

問い合わせ:コミュニティ・ジョブ相談センターさっぽろ 担当者 北村 畑

住所: 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F 北海道NPOサポートセンター内 TEL: 011-204-6523

問い合わせメール: hokkaido-job@dosanko.org コミュニティ・ジョブ相談センターさっぽろ URL: http://hokkaido-job.dosanko.org/

贿賠

がんやホスピスケアについて学び一緒に活動しましょう

NPO 法人市民と共に創るホスピスケアの会は「その人らしい生と死を支える | というホスピスケアの考えが医療 全体の、そして社会の基本になるように、望ましい医療と福祉の実現に向けた活動を続けています。具体的には、 ホスピスケア市民講座、ひまわりサロン、会報発行、気功教室、リフレクソロジー・ミニ教室、情報提供支援事 業「ちえのわ」などを行っています。当会で共にボランティアをしながら、がん医療やホスピス緩和ケアについ て学び、新しい仲間、新しい自分に出会ってみませんか! なお、11 月のホスピス

ケア市民講座は、1日(日)14:00~16:30 札幌市医師会館(北海道札幌市中 央区大通西 19 丁目)「チェロ演奏と語りの午後~出会いを重ねて」、26 日 (木)18:30~20:30 かでる 2・7(札幌市中央区北 2条西 7 丁目)「最期の日 まで元気に生きる行動形成法 |。各受講料は会員と学生が500円、一般 700 円です。また、がん患者・家族の情報交換を行なう「ひまわりサロン」 を毎月第1・3火曜日(祝祭日を除く)13:30~15:30 当会事 務所で行っています(参加無料)。各事業の詳細は当会にお問い 合わせください。

●お問合せ/NPO 法人市民と共に創るホスピスケアの会 E メール shimin-hospice@niftv.com TEL·FAX: 011-615-6060 (平日 10:00~15:00)

aua

画 楓アヤ



リハビリのお手伝いをしてくださる方募集

私たちの娘さくらは、地域の学校に通う自閉傾向がある小学3年生です。心身の発達を促すため、下校後、1時 間程度自宅で機能回復の運動訓練をして7年目になります。訓練の甲斐あって2年前、娘は歩くことができるよ うになりました。ですが、1回の訓練には大人が3人必要で、ボランティアさんが少なくなった今、訓練を行い づらくなっています。どうか皆さまのお手すきの時に力をお貸しください。訓練の内容は、どなたでも出来るよ うな腹筋や背筋などの運動トレーニングです。1週間に1度でもかまいません。見学もいつでもお待ちしてます! また、交代で小学校の付き添いをしてくださる方も募集しています。お子さん連れの参加も可能なので、ご相談 ください。

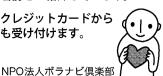
- ●日時/月~金曜日 15:00 以降で1時間程度
- ●場所・交通機関/札幌市豊平区旭町(地下鉄東豊線「学園前駅|下車5分)
- ●お問合せ/森 義則・晴子 TEL・FAX:011-832-8642 Eメール hako513@niftv.com さくらヘルプ ホームページ http://homepage3.nifty.com/hako513/

፟ をお待ちしております

月刊ボラナビは、みなさんの寄付で発行しています。

1万円以上の寄付は 裏表紙で 名前をご紹介しています。

クレジットカードから も受け付けます。





(クレジットカードのみ)

あっさりとした優しい甘さの 月寒あんぱん 北海道産かぼちゃ使用の ◎ 明治時代の味を再現した 黒糖あん入り

開塞明治到年 月度あんばん水幅

Mほんま

かぼちゃあん入り

月寒あんぱん本舗 「ほんま」は

ボラナビ倶楽部を応援しています。

★ 本広告を切り取り、店までお持ち下さい。お好きなあんぱん1個を進呈します。 有効期限/09年10月末

開拓の夢を抱いて、北の大地に集った先駆者たちが

原野を切り開いて道を作り続けた時に食べていた・・・ それが「月寒あんぱん」です。札幌市民に愛されて、

道産小豆を使い、昔ながらの製法で作り続けて103年。

豐平区月寒東2条3丁目2-1 和菓子処 寒月 中央区南1条西27丁目 maruyama

月~木

長期間入院患者付き添い家族のための宿泊施設受付

北海道ファミリーハウスは、道内外各地から札幌市内の病院に長期間入院する患者の家族が、安心して安価に宿泊できる施設の紹介をしている団体です。地味な活動ですが、応援してくださる方々も徐々に増え、設立から今年で10年目になります。昨年度から NPO 法人として新たなスタートを切りました。現在、患者家族からの問い合わせや宿泊に関する電話対応や書類の発送などの簡単な事務処理を行うボランティアを募集しています。活動の詳細はホームページをご覧ください。慣れない土地で生活をされる付き添い家族の方々の不安を、少しでも解消できるようにお役に立ちたいと考えています。私たちと共に活動してくださる方、また、活動に興味がある方もご連絡ください。

- ●日時/月~木曜日 10:00~16:00
- ●場所/NPO 法人北海道ファミリーハウス(札幌市北区北7条西6丁目 北苑マンション407)
- ●交通機関/地下鉄南北線「さっぽろ駅 | または JR「札幌駅 | より徒歩 6 分
- ●その他/ボランティア保険、市内交通費(実費)の他に、昼食代の補助があります
- ●お問合せ/NPO 法人北海道ファミリーハウス Eメール npo-0704@az.snowman.ne.jp
 TEL: 011-716-4161 FAX: 011-716-4162 ホームページ http://www3.snowman.ne.jp/~h-family/



外国人・帰国者の子どもたちに日本語学習支援

札幌子ども日本語クラブは、2001年に中国帰国児童生徒と現場の先生の要望に応えて発足したボランティア団体です。2006年に札幌市の事業として始まった「札幌市帰国・外国人児童生徒教育支援事業」に協力し、学校で放課後を中心に日本語学習の支援をしています。また、支援の一環として、独自に多言語での資料を作成して高校受験のための進路資料集をつくったり、子どもたちや保護者との交流を深めるためのレクリエーションを実施したりしています。学習支援を受けているのは、小学校1年生から高校生(中退者含む)までの子どもたちです。中国語が母語の子が多いのですが、最近は母語も多様になってきています。現在日本語ボランティア会員は30人で、月1回のミーティングや学習会などを通じて、会員の交流を大切にしながら活動しています。日本語教師養成講座を受けた方、または日本語教育に関心のある方の参加をお待ちしていますのでご連絡ください。

- ●日時/担当する子どもによって多少違いますが、通常平日、放課後の時間帯に週一回程度
- ●活動場所/札幌市内の小・中学校、北海道立市民活動 促進センター(札幌市中央区北3条西7丁目)など
- ●お問合せ/札幌子ども日本語クラブ〈担当:谷〉 TEL:011-782-0635 FAX:011-782-0635





北海道のNPO・NGOの 相談業務承ります!

(財)北海道国際交流センター (HIF) は道南を中心にホームステイ、国際交流や地球環境、NPO・NGOサポートなどの活動をしている団体です。2009年度の外務省NGO相談員です。北海道全域の相談業務に対応するため、HIF札幌デスクを開設しています。よりきめ細かい相談や出張サービス(いずれも無料)を承ります。

詳しくは、札幌デスク NPO法人ボラナビ倶楽部 または (財) 北海道国際交流センター (HIF) までお問い合わせください。 TEL: 0138-22-0770 FAX: 0138-22-0660 Eメール info@hif.or.jp ホームページ http://www.hif.or.jp





瞳がいのある子どもたちと関わりませんか

PURE な HEART をもつ障がい児を放課後や夏・冬休み中にお預かりしています。パート職員など数人で運営しており、子どもたちの俊敏な動きについて行くのに必死です。障がい福祉に興味のあるボランティアさんを募っていますが、なかなか集まっていただけません。子どもたちと一緒に笑って、走って、そして一緒に子どもたちのことを考えてみませんか。学生さん大歓迎です。まずはのぞいてみてください。

- ●日時/月~金曜日 14:00~18:00。土・日・祝日及び夏・冬・春休み期間中は8:30~18:00。年末年始は休みです
- ●場所/いきいきセンター 2 階(江別市大麻沢町 5 番地 6) ●交通機関/JR「大麻駅」より徒歩 10 分
- ●お問合せ/日中一時支援事業センターいきいき〈担当:矢野〉 E メール zaitaku@ebetsu-fukushi.org TEL:011-387-5111 FAX:011-378-8655



車いすで通学する子どもを手伝うボランティア募集

車いすなどを利用する子どもたちが学校(普通学級)生活を行う上で必要とする介助や付き添いのボランティア を募集しています。校内の移動や階段昇降、トイレ使用時の介助の他、遠足などの学校行事の際に付き添いをお 願いします。月に1度でもかまいませんので、お時間があるときにご協力ください。

- ●日時/登校日の午前か午後、又は全日 ●場所/担当していただくお子さんによる
- ●お問合せ/札幌市車椅子通学生の学校生活を支援する会〈担当:酒井〉 TEL・FAX:011-561-7977

随時

勤務中のトイレを手伝ってくださる方募集

私は、脳性まひという障がいがある 25 歳の女性です。障害者自立支援法では、通勤時の送迎と勤務中のケア(トイレ・食事介助など)が認められておらず、事業所のケアサービスを利用すると給料分に相当してしまいます。職場に迷惑をかけずに働きたいのです。女性で、トイレのお手伝いをしてくださる方はいませんか。言葉には障がいはありませんので、お手伝いの内容も随時伝えることができます。電話では緊張してしまい、思うように伝えられないこともありますので、お問い合わせは FAX またはメールでお願いします。

- ●日時/週4~5回程度(月により曜日が異なります) 10:30~11:00
- ※月1回でも、週1回でもかまいません。都合の良い曜日でお手伝いして頂けると嬉しいです
- ●勤務先住所/札幌市中央区北 8 条西 23 丁目 2-22 イベール 823 2 階 札幌肢体不自由児者父母の会
- ●交通機関/地下鉄東西線「二十四軒駅 | 〈6番出口〉より徒歩10分
- ●お問合せ/山内 Eメール mika-mika913@beige.plala.or.jp TEL・FAX: 011-747-5781



~NPOのちょっとした疑問にお答えします。~

NPO法人が有する土地を売却することにしました。代金は、分割で払ってもらうことにし、契約書を作成しましたが、契約書だけでなく、公正証書を作ったほうがよいという話を聞きました。公正証書を作成するとどんなメリットがあるのでしょうか。

まず、公正証書は、契約書に比べ、強い証明力を有します。 売買契約書作成後、相手方が「契約書にサインした覚えがない」「強制的に書かされた」などと述べても、公正証書があれば、相手方はこのような言い分を裁判で主張するのは困難となります。次に、公正証書には執行力を持たせることができ、この点が一番の利点です。すなわち、買主が代金を支払わなくなった場合、公正証書に執行力を持たせておけば、裁判を起こして勝訴判決を得るという手続きをとらなくても、公正証書に基づいて相手方の財産に対し強制執行が可能となります。

下矢洋貴 弁護士(佐々木総合法律事務所 TEL:011-261-8455)



バスケットボールクラブのメンバー募集

スポーツによる健全な交流活動を目的に、聴覚障がいや知的障がいのある方たちと一般の人たちが一緒に、バスケットボールを楽しむ運動系の社会奉仕団体です。月2~5回活動しています。障がいのある方の参加がまだ少ないので、関心のある方はぜひお問い合わせください。バスケットがあまり得意ではなくても、みんなでカバーし合い、楽しく活動しましょう。将来、体育の教師を目指す方や、技術を向上させたいという人たちも歓迎します。守りやパスのチームプレイを通して障がいのレベルが改善された方もいます。

- ●日時/隔週日曜日 12:00~14:00 か 14:00~16:00 、または 16:00~18:00 のいずれか
- ●場所/札幌市白石区のレッツポプラ、中央区の体育館、北区の施設などで行います
- ●会費等/入会金 500 円、月会費 300 円
- ●お問合せ/ボランティアコミュニティー・バスケットクラブ〈担当:木多〉 Eメール Own385502f6549r@ezweb.ne.jp(アドレスの最初は数字のゼロです)



障がい者就労継続支援施設作りに関わってくださる方大募集

こんにちは。私たち NPO 法人みつばちは、障がいがあるために就労の機会に恵まれない方々を対象として「働きながら学ぶ場」作りを模索しています。パソコンの作業や企業の書類整理を中心に活動しておりますので、私たちの活動に賛同し、一緒に動いていただける方を募集します。手稲区・西区の方、歓迎します。

- ●日時/ミーティング日などは相談して決めてます
- ●活動地域/札幌市手稲区·西区
- ●お問合せ/NPO 法人みつばち〈担当: 奥塚〉 TEL・FAX: 011-684-8653



生活支援サポーター募集

NPO 法人日本理美容福祉札幌センターでは、高齢者・障がい者への支援活動として出張理美容を提供しています。この度、日常生活のお手伝いを望む高齢者世帯が多いことから、有償ボランティアによる支援活動をスタートすることとなりました。サポーターを 30 人程度募集いたします。内容は、外出の付き添い・お買い物のサポート・ちょっとしたお手伝い・話し相手などです。サポーターとして登録を希望する方は、介助講習を行いますので 29 日(木)18:00 までにお申し込みください。

- ●介助講習日時/10月30日(金) 10:00~16:00
- ●場所/かでる 2·7 310 号介護実習室(札幌市中央区北 2 条西 7 丁目)
- ●受講料/無料 ●その他/サポーターとして活動する際は時給 700 円
- ●お問合せ/NPO 法人日本理美容福祉協会札幌センター Eメール nporibi@r9.dion.ne.jp TEL・FAX: 011-775-7060 携帯: 090-6212-5631



~NPOのちょっとした疑問にお答えします。~

今回、1台20~30万円程度の コピー機を購入する予定です が、固定資産として処理することにな りますか? また減価償却はどうすれ ばいいですか?

一般的には、10万円以上で1年以上使用する見込みのものを固定資産として貸借対照表や財産目録に計上します。しかし、10万円という基準は、特に法律で決っているわけでもないので、各団体の経理規定等でその額を増減させても問題ないでしょう。法人税の申告を行っている団体においては、10万円以上20万円未満の固定資産については、3年間で均等(毎期1/3)償却することも可能です。また、青色申告法人である場合は、限度総額や適用期限等の諸条件はありますが、30万円未満の固定資産であれば、購入時に全額減価償却することも可能です。

瀧谷和隆(瀧谷和隆税理士事務所 apitakiya@aol.com)

随時

国内外のワークキャンプや中長期ボランティアの参加者を募集

"カラフルでヘルシーな地球社会"づくりを目指し、国内外でワークキャンプや中長期ボランティアを行う特定非営利活動法人 NICE (ナイス)では、参加者を募集しています。ワークキャンプとは、世界中から集まった仲間と寝食をともにしながら地域の人たちと行うボランティアで、環境保護や福祉、農業、村おこしなど各地域の特色あるプロジェクトに取り組んでいます。ボランティアワークにとどまらず自炊による食事、夜間のワークショップの実施など人間的成長もかなえるワークキャンプは現在、世界的広がりを見せています。参加者がワークキャンプや国際ボランティア活動に興味を抱いたきっかけは「国際ボランティアをしてみたい」や「世界の若者と友達になり、異文化交流をしたい」「外国語がうまくなりたい」「環境・福祉・開発等の問題を学びたい」などさまざまです。ワークキャンプの期間は2~3週間で、世界98カ国3,000カ所に派遣。2カ月以上にわたる中長期ボランティアも世界27カ国へと派遣しています。

国内では、各地でワークキャンプや中長期ボランティアを受け入れており、きっとあなたにぴったりの活動が見 つかるはずです。参加者の不安を解消するため、体験談を聞く会や説明会も開催しています。みなさんが一歩を 踏み出すお手伝いをします。各プログラムの詳細はホームページでご確認ください。

- ●お問合せ/NICE 全国事務局 TEL: 03-3358-7140 (月~金 10:00~12:30、13:30~18:00) ホームページ http://nice1.gr.jp 新宿区新宿 2-1-14 エレメンツ新宿ビル 401
- *参加申し込みをする際は、「ボラナビ | を見て、とお伝えください。

土

ラテンパーカッションの演奏者募集

札幌市北区の介護施設で音楽による学習療法を中心にして活動をしている「札幌ラテンパーカッション」では、一緒に活動してくださる方を求めています。入所者の方々にボンゴ、コンガ、マラカス、グイロなどを叩いてもらい、リズムを楽しんでもらうことで、大脳機能改善効果が期待されています。今後、メロディーを重ねた曲づくりも目指しています。ラテンパーカッションを演奏し、奉仕活動ができる、車の運転可能な方大募集。見学もできます。

- ●日時/土曜日 13:30~15:30 ●場所/札幌市北区新琴似の介護施設
- ●参加費/年3.600円 ●その他/車移動のできる方
- ●お問合せ/札幌ラテンパーカッション〈担当:佐藤〉 E メール musicpresent@softbank.ne.jp 携帯:090-3399-2482



海外と日本の子どもたちの絵画交換交流活動サポート

「絵を交換し合った子どもたちが、いつか世界のどこかで出会えたら…」。小さな願いと大きな感動を世界中の人々に伝えるために、私たちは子どもたちの絵画交換による交流活動を続けています。エクセルのデータ入力・絵画の整理・文書の翻訳(英訳・韓国語訳・ロシア語訳)・ホームページ作成、作品の撮影などのボランティアを募集しています。好きな時間に、あなたの好きなこと・できることでかまいません。

- ●日時/月~金曜日 9:00~17:00
- ●場所/札幌市白石区本郷诵南 5-19 イーメンズ国際平和教育財団設立準備委員会
- ●お問合せ/国際 NPO EEMNS イーメンズ国際平和教育財団設立準備委員会 Eメール eemns@eemns.com TEL: 011-861-0660 FAX: 011-861-2333 ホームページ http://www.eemns.com

ハンド・フットケア教室 癒しとぬくもりのケア

無料体験 レッスン有

(癒しとぬくもりのケア)は、オイルを使って手と足を温もりの手でさすってなでてあげる優しい手当ての手技です。手足を通して、心に触れるケアであり、 肌と肌と触れあう事によってコミュニケーションが取りやすくなります。 むくみの軽減や手足先がいつも冷たい方、筋肉の抱縮を和らげるなど、多方面に利用されています。

日 時/毎月第2・第4土曜日 13:00~15:00 (2時間/回5回)会 場/札幌市中央区南2条西6丁目 狸小路プラザハウス2階 受講料/35,000円(教材・修了証書代含む)

NPO 法人 日本ヒーリングケア協会・ヒーリングスクール札幌 代表:男沢(おざわ)千恵子 TEL:011-824-3848 FAX:011-824-3844 ホームページ http://www.j-hca.jp/ Eメール sapporo@jhca.net

受験味のある方 念 夢 せつお気軽にご応募ください♪ ■資格/ホームヘルパー2級以上、未経験者大歓迎 35歳以上 夜間は年齢不問 運転免許必須 南区在住の方(周辺の方も応相談) ■勤務時間/応相談 昼間、深夜相談可 ■給 与/時給930円(交通費400円。深夜手当などの諸手当有り)

■勤務場所/南区とその周辺■応募方法/履歴書を当事業所まで郵送するか、下記までご連絡下さい。

NPO法人せせらぎ ヘルパーステーションせせらぎ

〒005-0804 札幌市南区川沿4条3丁目4-9 フラワーハイム102号 TEL: (011)572-7810 FAX: (011)572-7840

のサルフォメーション mini-information "minformation"。

10/1(木)

▶聞いて得する講座シリーズ「自分のための介護保険」

▶13:30~15:30 札幌市社会福祉総合センター4階視聴覚室(札幌市大通西19)

「介護保険がよくわからない」「使いにくい」という声に応え、実際に使う時の注意点や問題点などをお聞きします。 昨年に引き続き、アンコール企画です。講師は、ケアマネージャーの深瀬啓子さん。参加費会員 400 円、一般 600 円。 定員 40 人。 間 葬送を考える市民の会事務局 TEL: 011-261-6698

10/3(土)

▶第4回 WITH US (私たちとともに) 性同一性障害の講演会

▶ 15:00~17:00(受付14:30~)札幌医科大学医学部 臨床教育棟1階 臨床講堂(札幌市中央区南1西16)

戸籍の性別の変更に関する特例法が成立してから6年がたちました。これまで千人以上が戸籍の性別を変更しましたが、その数はごくわずかで、まだ当事者が気兼ねなく暮らせる社会には、なっていません。第1部では戸籍の性別変更法に尽力された九州国際大学法学部教授でGID(性同一性障害)学会理事長の大島俊之先生が、当事者が社会の中で、一般の人と変わりなく普通に暮らせるようになるためのサジェスチョンについて講演します。第2部では、「性同一性障害の今とこれから」をテーマに北海道内の当事者と北海道文教大学教授でGID学会理事の池田官司先生とで意見交換します。※第1部と第2部は入れ替わる場合があります。参加料500円。 間WITH US(私たちとともに)性同一性障害実行委員会〈日野〉 Eメール kurisu@kmail.plala.or.jp 携帯:090-8630-0791 FAX:011-711-3817

10/6(火)~11(日)

▶ ベトナムの「子どもの家」作品展

▶ 10:00 開場 火金18:00、水木20:00、±17:00、日15:00 まで 石狩市民図書館(石狩市花川北7-1-26)

ベトナム・フェ市にあるストリートチルドレンや貧困層の子どもの自立を支援するホーム「子どもの家」。現在、55名の子どもたちがスタッフに見守られ寮生活をしています。作品展では、ホームの絵画教室で学ぶ子どもたちの美術作品や、刺繍の技術を身につけ自立した卒園生の繊細な刺繍など、未発表作品約 200 点を展示します。伸びやかで色彩豊かな作品から、彼等の思い、夢や希望を感じてください。皆様のご来場、心よりお待ちしています。入場無料。間 NPO 法人石狩国際交流協会 (IIA) 〈伊藤〉 Eメール iia@dream.ocn.ne.jp TEL:0133-64-5931 FAX:0133-64-5932 ベトナムの「子どもの家」を支える会 ホームページ http://www001.upp.so-net.ne.jp/jass/

10/10(土)

▶漆(うるし)塗りマイ箸体験講座

▶13:30~15:00 エルプラザ2階会議室3・4(札幌市北区北8西3)

伝統職人を講師に、ご家庭で使わなくなったり、先が欠けた木製の箸などを漆 (うるし) 塗りの技法を使って、「マイ箸」へとリメイクする体験講座です。当日は、漆器や陶器などの修繕相談もお受けします。講習費は、大人 2,000 円、高校生 1,500 円、中学生以下 1,000 円、未就学児童は無料。要事前予約・先着順。エプロン、筆記用具をお持ちください。 問 ECO コミュニティビジネス 21 〈藤原〉 Eメール ecocominet21@yahoo.co.jp 携帯: 090-5074-6636

10/20(火)

▶第5回札幌市里親促進フォーラム

▶ 第1部10:30~15:00 4階講堂 第2部16:30~20:00 小ホール 札幌市教育文化会館(札幌市中央区北1西13)

「家庭の温み(ぬくみ)を子どもらに」―。里親制度について地域で理解と関心を深めるフォーラムです。近年の核家族化・少子化など社会状況の著しい変化で、家庭の養育機能が低下し、里親制度が担う社会的役割も大きくなっています。第1部ではフォーラム開催5周年記念として「里親と里子一新しい家族のかたち」をテーマに、長崎活水女子大学准教授園井ゆり氏の講演や、日々の養育に汗を流している里親さんの養育体験の発表、第2部ではマリンバのコンサートを企画しています。札幌市、北海道里親連合会共催。入場無料。 間 札幌市里親会〈田中〉 TEL:011-622-8630 FAX:011-622-8701

10/30(金)

▶山の手図書館「大人が楽しむおはなし会」へのお誘い

▶ 第1部10:30~12:00 第2部13:30~15:00 山の手図書館2階多目的室(札幌市西区山の手4-2)

私たちは、子どもたちに昔話をはじめ様々なおはなしを「語り」で伝える活動をしています。今回は、大人向けのおはなし会のお誘いです。1 部と 2 部、異なるプログラムで、笑える話、ちょっと怖い話、ほっとできる話などたくさんご用意しました。秋のひととき、おはなしに耳を傾けて、ゆっくり過ごしませんか。無料。予約不要。駐車スペースが少ないため公共交通機関をご利用ください。 間山の手図書館「おはなしかご」〈杉山〉 TEL・FAX: 011-778-4506

10/30 締

- ▶お金をかけずに知恵絞る!新聞紙+セロテープ=レク運動会
- ▶11/3(祝・火)13:30~17:00(受付13:00~) JR 研修センター2階体育館(札幌市東区北5東10)駐車場有

新聞紙やテープを使って安価でできるレク財の紹介や実演をします。定員 30 人。上靴持参、動きやすい服装でいらしてください。持ち物は、はさみ、セロテープ、新聞朝刊 2 部、筆記用具。参加費 2,000 円。当日会場でお支払いください。お申し込みは FAX で。会の終了後アリオ札幌内で参加者情報交換会有り。参加希望者は別途 2,000 円かかります。間 ケアレクリエーション倶楽部〈南部〉 FAX: 011-665-1399

▶「長寿・子育て・障がい者基金」助成のお知らせ

独立行政法人福祉医療機構は、高齢者や障がい者の在宅福祉、生きがい・健康づくり、子育て支援、青少年の非行防 止や健全育成、障がい者スポーツの振興などを行う団体を対象として、平成22年度の助成事業の募集をします。ホー ムページ(「WAM 基金」と検索)で、募集要領、交付要望書様式、各都道府県又は政令指定都市社会福祉協議会の連絡 先等を必ずご確認ください。 問①先駆的活動助成 独立行政法人福祉医療機構基金事業部基金支援課

Eメール sinkoka@wam.go.ip TEL: 03-3438-9945 又は 9946 FAX: 03-3438-0218

ホームページ http://www.wam.go.jp/wam/gyoumu/kikinjigyou/ ②地域活動助成・地域活動助成モデル事業 都道府県 又は政令指定都市の社会福祉協議会へ。

- ▶わくわくサイエンス塾さっぽろ校開催中
- ▶ 毎週水曜日 キッズクラス 18:00~19:00 ジュニアクラス 19:00~20:30 ちえりあ 4 階理科研修室

小学生対象で、体験的な理科教室、楽しい科学実験を行っています。参加費 1ヶ月 5.500 円。キッズクラス(小 1~小 3)、ジュニアクラス(小4~小6)に分かれて、文化遺産調査、酸性雨などをテーマに実験や作品づくりをします。参 加してみませんか。詳細はお問い合わせください。 問 NPO 法人自然教育促進会〈安原〉

E メール sizen1991@sokusinkai.com TEL: 0134-51-5666 FAX: 0134-51-5667 小樽市望洋台 2-14-1

▶死別の悲しみを分かち合う会

▶毎月第1日曜日14:00~16:00と第3火曜日18:30~20:30 当会事務所(札幌市北区北 17 西 3-2-28 N 17 レーベンビル 601 号室)

死は、唐突に私たちから愛する者を奪います。この苦しみはあまりに大きいので、とてもひとりで背負いきれるもの ではありません。この会はかけがえのない方を亡くされた方の悲しみを分かち合う場です。どこへももっていきよう のない悲しみや淋しさは、同じ思いを持つ人と語り合うことによって、少しずつ癒されていくように思います。 グリー フスタッフと呼ばれる数人がアシスタントとして同席するだけで、出席者は自由に話し合います。カウンセリングや 指導をすることはありません。誰も答えは出せません。おさえつけていた悲しみを吐き出し、安心して泣き、同じ立 場の人の話を聞くことによって自分を振りかえり、同じ悲しみを持つのは自分だけではないことを知り、立ち直るきっ かけをつかんで頂く。悲しみを乗り越えるための通過点になれたらと考えています。参加無料。

間 札幌生と死を考える会 Eメール sapseitoshi@yahoo.co.jp

TEL・FAX:011-736-1838 (電話受付は月・木曜日の11:00~15:00)

ホームページ http://www.geocities.jp/sapseitoshi/wakatiainokai.html

▶視覚障がい者へのサポート「あいさぼ」をご利用ください

日時

9月26日(土)15:00~17:00

10月 2日(金)18:30~20:30

▶受付時間 平日 9:00~17:00 北海道高等盲学校(市電「ロープウエイ入り口」停留所下車徒歩7分)

会 場 函館市地域交流まちづくりセンタ

アスティ45ビル 4階(札幌)

札幌コンベンションセンター 中ホール

北海道高等盲学校は視覚障がいに関するセンター的な役割を持つ特別支援学校です。このたび、視覚障がいに関する サポート「あいさぼ」をはじめました。見え方について悩んだり、わからないことはありませんか。電話、来校など でご本人やご家族、学校などからの相談を受けています。視覚障がい者への高等学校に準じた教育のほか、あん摩・ マッサージ師、はり師、きゅう師養成も行っていますので、関心のある方はお問い合わせください。また、見学・体 験・研修(事前にご連絡ください)、点字、視覚障がい者スポーツ、介助法などのご案内、福祉制度、支援機関、視覚 補助具、便利グッズ、進路など視覚障がいに関するサポート情報の提供も行っています。

利用は無料です。 問 北海道高等盲学校〈東海林〉 E メール koumou-kouhou@hokkaido-c.ed.jp TEL: 011-561-7107 FAX: 011-561-2423 ホームページ http://www.koumou.hokkaido-c.ed.jp/



	10月 9日(金)19:00~21:00	膝田観元リンントンホテル旭川	
١	10月12日(月)15:00~17:00	北海道大学 人文·社会科学総合教育棟W103号室	
ı	10月19日(月)18:30~20:30	アスティ45ビル 4階(札幌)	
,	シニア海外ボランティア(40~69歳)		
•	日時	会場	
	9月26日(土)10:30~12:30	函館市地域交流まちづくりセンター	
)	10月 1日(木)18:30~20:30	アスティ45ビル 4階(札幌)	
	10月 3日(土)10:30~12:30	札幌コンベンションセンター 中ホール	
	10月10日(土)10:30~12:30	藤田観光ワシントンホテル旭川	
	10月12日(月)10:30~12:30	北海道大学 人文·社会科学総合教育棟W103号室	
	10月13日(火)18:30~20:30	アスティ45ビル 4階(札幌)	

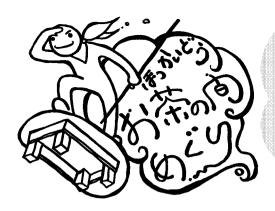


-003-0026

北海道札幌市白石区本通16丁目南4-25 http://www.jica.go.jp/sapporo/index.html

資料請求·個別相談随時受付中

TEL 011-866-8393 FAX 011-866-8382 E-mail sictpp@jica.go.jp 担当/田中·大橋·仲沢



誰でも気軽に立ち寄っておしゃべりができる「地域のお茶の間」は、集まった人たちとおしゃべりをしたり、ゲームや料理などをしながら、一緒に楽しい時間を過ごすことができるスペースです。

ホームページで札幌市内を中心に、300ヶ所を紹介中!

お茶の間めぐり

検索、

▶ このコーナーは、赤い羽根共同
募金の支援を受けています。

VO1.25

NPO お茶の間サロン

場 所 旭川NPOサポートセンター

(旭川市2条通8丁目2条ビル3階)

日 時 毎月第2木曜日 17:00~19:30

参加費 300円 (コーヒーと茶菓子付) 会員は無料

参加対象 どなたでも参加でき、途中参加も可能です。

特に定員は決めておりません。事前にご予約ください。

主催連絡 NPO 法人 旭川 NPO サポートセンター

Eメール asahinpo@potato 3.hokkai.net

TEL • FAX 0166-27-3383

ホームページ http://potato3.hokkai.net/~asahinpo/



お茶め間の雰囲気

サポートセンターの開館時間に来ることができない人のために月1回でもいいので、夜間オープンしてはどうかと理事の一人から提案があり、2008年にスタートしました。

これまでサポートセンターに足を踏み入れたことのないような方々が予想以上に集まったのが、嬉しい驚きでした。

若者からシニアまで、職業も立場も違うさまざまな 方が参加されています。最近は若者、特に男性が多く、 平均の参加人数は4~8人ほどです。

毎回のテーマを特に設けずに気軽に話せる雰囲気が 良いのか、リピーターが多いことも特徴です。理事も 数人参加して場を盛り上げています。



参加者の声

- 「NPOやキャンドルナイトなど色々な話題があり、 毎回楽しく参加しています。これからも続けてほしいです。」(20代男性)
- ・「毎回1つのテーマにとらわれず、いろいろな話題で盛り上がるので参加を楽しみにしています。さまざまな仕事や年齢の方と触れ合うことで、自分の世界を広げることにもなりました。初めての参加でも、とても話しやすい雰囲気なので、何かの活動に参加してみたいけどどこから始めればいいかわからない、と思っている人には良いきっかけになると思います。」(20代男性・行政書士)

年代・性別・テーマの設定もないフリーな雰囲気です。どなたでも気軽に参加できます!



ボラナビカフェも 毎月開催しています。



日 時/10月24日(土) 10:00~11:30 場 所/ボラナビ事務所(中央区北5西6 和通ビル7階) 内 容/テーマを決めずに楽しく話し合う場です。 参加費/1,000円 定 員/10人

参加方法/1週間前までに要予約。 TEL:011-242-2042

volunavi@npohokkaido.jp 月寒あんぱん本舗㈱ほんま様より茶菓子 の提供があります。



4 (火) ●札幌市市民まちづくり局の方が、インターンシップ中の大学生 2 人とともに来所。市民活動やボラナビについて説明する予定が、話が弾み、「働くこと」についておしゃべりした。

6(木)●出張芸ボランティアへのお問い合わせが相次いだ。登録者をボラナビホームページで紹介しています。●北海道新聞社社会福祉振興基金から助成をいただけることになった。本号から3月号まで「NPO な人」の連載継続のために活用させていただきます。

7(金)●ろうきんの NPO 自動寄付制度 (※1) に新規 2人の申し込みがあった。ありがとうございました。 11(火)●ショッピングセンター・イオンが行う幸せ の黄色いレシートキャンペーン (※2) にボラナビも 参加しています。この日は、苗穂店で協力を呼びか けたところ、買い物中の家族づれやシニアの方々が 快く応じてくださった。投函ボックスは桑園店と苗 穂店に常時設置されていますので、見かけましたら ご協力をお願いします。

14(金)●ボラナビはお盆期間中も開所。みなさん、お盆はいかがお過ごしでしたか。

19(水) ●納品日。今月は3人で梱包・封入作業を行った。日ごろパソコン前に座って作業することが多いので、運動不足を実感。夏休み期間中のため、近郊配達に学生ボラさん2人も協力してくださいました。20(木) ●ボラボラ(ボラナビ倶楽部のボランティア)さんと先述の学生ボラさんが札幌市関連施設へと配達。新しく仲間入りした方も配達ボラに参加してくださいました。●某企業のCSR(企業の社会的責任)推進担当の方を訪問。ボラナビとの協働策・ボラナビへの支援策でアイデアをお持ちの方はぜひ、ご連絡ください。●北海道福祉のまちづくり賞審査委員会に森田が出席。

21(金) ●今月から、月寒あんぱん本舗㈱ほんま様がボラナビカフェの茶菓子を提供してくださる。カフェ前日のこの日、さまざまな種類の月寒あんぱんが届き、カフェ開催が待ち遠しくなった。

22(土)●ボラナビカフェ開催。20~60歳代と幅広い年代の7人が参加してくださいました。あんぱんと飲み物を手に、留学から規格外野菜までさまざまな話題で盛り上がりました。参加者によって毎回、カフェの話題は変わります。10月は24日(土)開催。希望者は2日前までにボラナビまでお申込みください。※1:ろうきんに口座をお持ちの方が、ボラナビを指定してくださると毎月100円が手数料無料でボラナビに寄付される制度。※2:毎月11日に、レジ精算時に受け取った黄色のレシートをボランティア団体別の投函箱に入れると、該当団体に合計金額の1%相当分の商品が寄付される。



ホームページを担当していると、いろいろなところのを運営者の視点で眺めるようになります。一つひとつのパーツの質が高いなとか、制作費がかかりそうな割に使い心地はちょっと?とか、柔軟なレイアウトだなとか。カタログを見るようで、飽きません。あとは、ボラナビのホームページに生かせれば言うことなしなのですが。

(ボラナビスタッフ・高山)

大好きな人

オラナビ倶楽部の会員になりませんか?

社会を 変えたい人

一緒に ボラナビを 育ててみたい人 市民活動や ボランティア<mark>は</mark> 興味がある人 ボラナビに 情報 - 広告を 載せたい人

- ■年額 /個人 5 千円、法人 1 万円。
- ■特典 /月刊ボラナビが毎月自宅に送られてくる。ボラナビカフェに無料で参加できる。会員メールマガジン(2010年4月スタート)を受信できる。法人会員は、有料広告枠を1割引で利用できる等。ぜひお申し込みください。
- ■お申込み・詳細 /ホームページで検索 ボラナビ倶楽部 会員 検索<
- ※会員期間は、来年度(2010年4月~2011年3月)です。なるべく、2010年3月までにお申し込みください。 今年度の会員もまだ募集しています(個人のみ3千円)。

NPO 法人ボラナビ倶楽部 ● volunavi@npohokkaido.jp ● TEL 011-242-2042

月刊ボラナビの配置先 ボラナビは毎月25日に発行しています(約1,000ヶ所にて無料配布中)。今月は札幌市西区の配置先をご紹介。

その他の配置先は、ボラナビホームページでご覧ください。 http://www.npohokkaido.jp/volunavi/

※配置に協力していただいている皆さま、ありがとうございます。 札幌市内の小中学校と北海道内の社会福祉協議会に配付しています。
遊佐新聞販売株式会社様、有限会社北海道新聞中田専売所様のご協力で、札幌市の一部地域で北海道新聞に折り込み配布をしています。一部地域では、ポスティングをしています。

ボラナビ倶楽部を支援してくださった方々 (ナニヌ順)

中道リース株式会社様 森田都様 進藤芳彦様

株式会社ニトリ様 游佐新聞販売株式会社様 生活クラブ生活協同組合様

エックス様 北雄ラッキー株式会社様 株式会社 HBA 様 株式会社土屋ホーム様

株式会社 NTT ドコモ様 寺岡ファシリティーズ株式会社様 北海道銀行様 北海道新聞社様 富永マサヱ様

札幌信用金庫様 有限会社北海道新聞中田専売所様 札幌通運労働組合様

北海道文化放送様 城宝和茂様

寄付金について -

匿名希望様

月刊ボラナビの発行は、企業や個人の方々からの寄付金でまかなわれています。10,000円以上の寄付金や、この 欄への 10,500 円の寄付広告をくださった場合は、お名前を誌面でご紹介しています。ぜひ、ご協力ください。政 治団体・宗教団体などからの寄付はお断りさせていただく場合があります。ご了承ください。

■情報掲載料金(各1号につき)

種類	サイズ(天地×左右)	料 金
企業・行政など広告A	50 mm×157 mm	63,000円
企業・行政など広告日	50 mm× 76 mm	31,500円
NPO・NGO の情報A	50 mm×157 mm	10,500円
NPO・NGO の情報B	50 mm× 76 mm	5,250円
NPO・NGO の情報C	定型	無料
裏 表 紙	50 mm×157 mm	105,000円
バナー広告	60 ピクセル×120 ピクセル	52,500円

- ※基本的に前払いでお願いいたします。
- ※上記の料金は、ご自身で制作された場合のものです。ボラナビ倶楽部に制作を依頼され る場合は、別途ご相談ください。(A=6,300円、B=4,200円、バナー広告=6,300円)
- ※誌面構成上、広告スペースは白地とし、スペース全体にベタ引き・アミ引きの使用はご 遠慮ください。
- ※バナー広告の掲載団体・個人は協賛一覧でご紹介させていただきます。
- ※「NPO・NGOの情報C」は、誌面の都合により掲載できない、又は縮小する場合があります。

■定期購読のご案内

- ●各号 1 部(6ヶ月間)……1,575円
 - 複数部を希望される場合は、ボラナビ倶楽部までお問い合わせください。
- ●お申込み方法 定期購読ご希望の方は、ボラナビ倶楽部までご連絡ください。 定期購読のお申し込みをされる場合(特に企業でお申し込みの場合)は、協賛をご検討ください ますようお願いいたします。

協賛については上記の「寄付金について」をご覧ください。

ボラナビ倶楽部への お振り込みは

■ゆうちょ銀行(郵便振替) 02700-1-5671

NPO 法人チャリティ・プラットホーム様

- ■北洋銀行北 7 条支店 (普)3662056
- ■北海道銀行札幌駅北口支店 (普)0816050
- ■北海道労働金庫道庁支店 (普)3153060
- ■札幌信用金庫本店 (普)4255071
- ●口座名:ボラナビ倶楽部
- ※北海道労働金庫の窓口でお振り 込みの際は、支払い手数料はか かりません。
- ■クレジットカードによる支払い も可能です。詳細はボラナビの ホームページでご確認くださ い。「ボラナビモバイル」はこち らからし



北海道新聞をはじめとする、地域の新聞社が運営するショッピングサイト 「よんななクラブ」では、日本各地の逸品・特産品をお届けしています。



よんななクラブ



http://www.47club.jp/ =e-mail:customer@47club.jp 株式会社47CLUB